

# コミュニティ・スクール できげんな学校だより (4号)

2023年10月発行  
調布市立上ノ原小学校  
コミュニティ・スクール  
学校運営協議会  
会長 清水 美千代



## あらためて コミュニティ・スクールが 目指すものって何？

学校が子どもたちにとってよい居場所であるためには、地域の協力がが必要です。

「先生たち、大変そう…」そんな会話をあらゆる場面で耳にするようになりました。そのような課題の解決も含めて、今日本の各地の学校で進められているのが「地域とともにある学校」コミュニティ・スクールです。

それは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支えることを目指す制度です。

では、子どもたちに必要なコミュニティ・スクールとはどんなものなのでしょうか。シンプルに言えば、「学校のそばに頼りになる人たちがいてくれる」ということが基本ではないでしょうか。

その存在が学校に安心感を与えられるように。  
子どもたちが学校で大らかに過ごすことになれるように。

上ノ原小学校は、調布市の中で一番早くこの制度を取り入れました。まだ模索している段階ですが、少しずつ見えてきている上ノ原小学校ならではのコミュニティ・スクールの姿。そんな活動のひとつが6年生の総合的な学習の時間の取り組みです。地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。



## 9月の学校運営協議会と給食の試食

学校運営協議会では、校長先生から2学期の教育活動に関する計画や体力調査の結果等についての報告がありました。そして、6年生総合的な学習の時間「自分自身を見つめて(キャリア教育)」について、効果的な学習を行うために、学校と地域が連携した運営を行う提案があり、実現に向けた話し合いが行われました。地域とともにある上ノ原小学校がコミュニティ・スクールの目指すところです。様々な職業を知る機会を設け、生の声を児童に届けられるよう準備を進めていきます。運営委員会終了後に、学校運営委員による給食の試食が行われました。



スポーツ大会前日のメニュー  
・勝つカレー  
・紅白ポンチ  
・コールスローサラダ



学校HPで紹介されている給食の写真



## 学校における働き方改革 へのご理解をお願いします。

東京都

子供たちに、効果的な教育活動を行うためには、教員が健康で生き生きと働くことが大切です。子供たちの笑顔のため、教員が子供たちと向き合うための時間や、授業の質を高めるための授業準備の時間を十分に確保できるよう、学校における働き方改革に対する皆様のご理解とご協力をお願いします。



[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/staff/workstyle\\_reform\\_school/for\\_parents\\_and\\_local\\_people.html](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/staff/workstyle_reform_school/for_parents_and_local_people.html)



## ご存知ですか？ 「楽器寄付ふるさと納税」

調布市

ご自宅・ご実家に眠っている楽器を楽器寄附ふるさと納税で地域に寄附しませんか？

既存のふるさと納税の枠組みを活用した都内では調布市が初めての実施となります。ご家庭などで使用されなくなった楽器の寄附を募り、中学校における部活動、音楽の授業で活用させていただきます。なお、返礼品を伴わないため、市内在住者の方も楽器寄附が可能です。



<https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1681689444172/index.html>